

柏木地区町会連合会で、「これからの柏木地区、町会活動について考えよう」のテーマで講演会を開催しました。

新宿区町会・自治会活性化支援事業を活用して、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子アドバイザーをお招きし、「これからの柏木地区、町会活動について考えよう」というテーマで講演をいただき、様々な疑問についてアドバイスを受けました。13町会から町会長や役員等計24名が参加しました。

各町会からは、より詳しいアドバイスを聞きたい、もっと多くの町会メンバーにも話を聞いてほしい、町会同士もっと情報共有したい、ということで、3月12日(日)に第2弾を開催することとなりました。



開催日

令和4年12月7日(水) 10:00~12:00

会場

柏木地域センター地下1階 多目的ホール

アドバイザー

合同会社フォーティール&C代表

地域活性化・まちづくりコンサルタント

水津 陽子氏

当日の参加者からの感想

担い手の定義を明確にすることはとても重要で、これまでの町会のやり方や役を押し付ける形は若い方の共感を得にくい。では具体的に何をするのか、という点で大変参考になりました。例えば、会則をきちんと見直すこと、個人情報適切な管理をすること、お金=会費の使い道を透明化すること、などの基本的なことです。そして、アドバイザーのお話を聞いて、自分たちの活動の足元を固めていくことが「新しい担い手」の発掘につながるのでは、と元気が出ました。

13町会共通の課題は「若い人」へのアプローチです。

「若い人」でも、20代と50代では効果的なアプローチは異なるので、ターゲットを明確にすることが重要、さらにアプローチする相手が、法人会員や管理会社、在住者、在勤(学)者でもまた異なる、というお話や、そもそもアプローチに固執するのではなくまず若い人に出会う場づくりが大切との説明は目から鱗でした。

北新宿四丁目町会さんが、町会費の口座振替をしたり、20か所の掲示板の管理は無償では限界なので、有償化していることを聞いて、水津アドバイザーの説明とも重なりとても参考になりました。